

## 🐾 相談員からのメッセージ

子どもアシストセンターでは、家庭教育学級や青少年関係団体など、子どもに関わるさまざまな団体やグループを対象に、相談・救済スタッフが講師となり、参加者の方々とともに話し合う「あしすと出前講座」を実施しています。ここでは、出前講座のアンケートに寄せられた子どもの心配事や関心事について、相談員の声をまとめました。



子どもが友人関係で悩みや心配事を抱えている時、どのように対応したらいいだろうか。



いつもと違う様子の時は、「何か困っていることがあるの？」と声をかけてみましょう。子どもの話にしっかり耳を傾け、**否定せずに受け止める**。気持ちの共感も大切です。



「**何があってもあなたの味方だよ**」と支えになることを伝え、安心感や居場所を作りたいですね。



いじめなど、家庭では解決できないような深刻な問題の場合は、担任の先生や教頭先生など**学校へ相談**することをお勧めします。

つい、過保護、過干渉になってしまおう。



手出しすぎると、子どもの自立心が育たなくなることもあります。**子どもを信頼して見守る**。そして子どもが困った時にサポートしましょう。



子どもを大事に思っているからこそ心配になりますよね。でも、**それは本当に子どものための心配？**自分を安心させるための心配では？とちょっと考えてみるのもいいかもしれません。



どの子どもにも自分で生きる力があります。挑戦や成功、失敗体験はとても大事な経験です。**子どもが自由に挑戦することを見守る**こともひとつの愛情ではないでしょうか。

思春期、反抗期との関わり方は？



反抗期はどの子にも訪れます。**健全に成長している証**と考え、温かく見守りましょう。



子どもの対応に疲弊してしまう時もあると思います。大きな感情に包まれた時は、**一呼吸**おいてみましょう。いつも丁寧な対応をするのは大変です。**時には受け流して！**



子どもが自分で考え、行動し、責任をとるための練習期間と考え、**親の意見を押し付けない**ように気を付けたいですね。ただし、無理な要求に流されないよう、**親子でルール**をしっかりと決めておきましょう。

公式ホームページでは、毎月1日にスタッフのコラムを更新しています！  
コラムのページはこちら→



## 札幌市子どもの権利救済機関 子どもアシストセンター

札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階  
※駐車場はありません

- 地下鉄東西線「大通駅」より徒歩5分
- 地下鉄東豊線「大通駅」より徒歩3分
- 地下鉄南北線「大通駅」より徒歩6分
- JR「札幌駅」より徒歩14分
- 北海道中央バスターミナルより徒歩2分

